

## 第35回富山地連定期大会

### 企業利益を優先する規制改革会議

### 自由化に向けて強く反対し今改正法を履行させよう

(石橋執行委員長があいさつ)

2014年11月04日 第35回富山地連定期大会を富山市内で開きました。

富山地連（石橋 剛委員長）は、11月4日、富山市内、各単組から選出された代議員19名（執行部9名）が参集し第35回定期大会を開催しました。

冒頭主催者を代表して挨拶に立った石橋委員長は、産業状勢について、『交通政策基本法施行（※過疎地における生活交通の確保、国際的な人流、巨大災害への備えなど、国民等の交通に対する基本理念を定める）により、地方分権と相まって地域交通網の再編が求められている。このことは、国と地方自治体の予算が絡むなど、県や市町村に対する要請・要求事項が増えることもさることながら、交通政策に無知な地方行政が、利用者利便のみに傾いてしまう危険性も孕んでおり、公共交通に於ける第一の安全が脅かされることのないよう今後の動きを注視していきたい』、また、本年一月に施行された「改正タクシー特措法」について、『長年、全自交の仲間と貫いてきた規制緩和に対する反対姿勢の成果として、富山・高岡氷見交通圏に於ける下限割れ安売り運賃が解消された。ただ、「特定地域」指定基準（※需給調整に強制力を持つ）が明らかになっていない現状では、本来の法律の趣旨である産業の健全化や労働者の待遇改善に結びついていない。今後、企業利益を優先する、規制改革会議の自由化への動きに強く反対し、今改正法を履行させる運動を進めていきたい』と、働く職場を守るための政策要求、強固な運動方針確立をお願いしました。



議事はその後、活動報告・会計報告が承認され、続いて、執行部より新年度の運動方針の提案を受けました。重要課題・主要課題は、《公共交通労働者にふさわしい賃金・労働条件の確立》、《人材確保と育成に向けた労働力確保》、《組合の基本活動の強化と組織拡大行動の展開》に分け提案され、議案全てが承認されました。新年度引き続き富山地連をけん引する立場になった石橋委員長は、『全自交の仲間と共に、改正法でタクシーの

新時代を築くために全力を傾注していく』と挨拶し、最後に、14秋闘勝利、15春闘賃金獲得、来春県議選勝利に向けて、統一と団結してガンバローと、声高らかに三唱し、大会は成功裡に終了しました。